

の運送社長は「誰で
管理者ができるよう
、また責任を持って
務を遂行してほしい
取得するよう勧め
ている」と話す。トラッ
20台を所有し、主に
品輸送を行っている
は、運行管理者以
に4人の補助者を置
ており、仕事に出る
番に点呼させ、24時
対応できる体制をつ
っている。

一方で、大阪市都島
の事業者は、「時間
コストの問題で、従
員に運行管理者試験
受けさせるのは難し
」と本音を漏らして
る。

日々の業務に忙殺さ
てか、「運行管理者
最低選任数を確保す

コンピュータシステ
ムの企画開発を手掛ける
クオリテック（藤原誠社
長、東京都千代田区）は
このほど、運送会社向け
の車両位置情報サービス
「iHere」（アイヒア）
を開発。4月からサービ
スを開始した。

藤原社長によると、同
システムは車両搭載専用
GPS装置の代わりに専
用アプリを入れたスマー
トフォンや簡易GPS端
末などを利用して、車両
の位置を把握することが
できる動態管理クラウド
システム。

同サービスは、車両の
位置をリアルタイムに把
握できるだけでなく、あ
らかじめエリアを指定し

車両位置サービスを開始

クオリテックのiHere

ておけば、車両がそのエ
リアを通過すると管理
画面で通知される仕組
み。配送先を登録してお
けば、車両が配送先に到
着したことが瞬時にわか
る。

料金は、事務所ID管
理費が1万円で、システ
ム利用料は1台月150
0円。トラック10台を管
理する場合、初期費用が
3万円（税別）で、ラン
ニングコストは、月3万
1000円（税別）となっ
ている。

藤原社長は「リースナ
ブルに活用できるような
仕組みを考えた。運送
サービス向上に役立てて
いただきたい」と話して
いる。

（高田直樹）

↑ 物流Weekly 2014年4月28日掲載

急速充電で

コマツ 新型バス

コマツは22日、1
間で容量の最大80%
で回復できる急速充
を可能にした新型バ
テリーフォークリフ
「FE25-1」を発表
最大荷重2・5トで
価格は455万円。
月8日から発売を開
する。大橋徹二社長は
「技術の粋を集め、
を持って発売する自
作。国内はもちろん
世界のマーケットに
ばたいていくと確信
ている」と自信を見
た。

急速補充充電するこ
で、1日あたりの稼
時間が従来の約2倍

気を引き出し、おまけ一説。心理学に裏打ちされた。効果がでないことの方